

Information 会員便り

事務局からのお知らせ

▼昨年8月、(財)日本スポーツクラブ協会が主催した「米国スポーツ事情観察」(柳川覚治団長)に、WSF Japanから三ツ谷洋子代表と、会員の高橋昭子さんが参加しました。訪れたところはワシントン、ニューヨーク、ロサンゼルス、3都市。1週間と短い期間に「体力とスポーツに関する大統領評議会」、「全米レクリエーション公園協会」、「ニューヨーク・ヘルス・アンド・ラケットクラブ」など7カ所を回り、大忙しの毎日でした。しかし、その分、収穫もどっさり。

ワシントンでは、米国の女性スポーツ団体の一つ、NAGWS(全米女子スポーツ協会)を訪れることができました。同協会は大学や高校の体育の教師を中心とする団体で、会員は1万7000人。このうち91%が女性です。創立は1899年。「女子がスポーツに参加する機会を増やし、またその指導にも、より多くの仕事の場を提供していく」という主旨で作られたこのことです。

日本にも、体育の女性指導者の団体(財)日本女子体育連盟があります。舞踊の専門家が、米国ほど開放的ではありません。

NAGWSの実績の一つとしては、1972年のAIAW(全米大学女子体育協会)設立があげられます。このとき、従来の大学スポーツの団体であるNCAA(全米大学体育協会)が強く反対しました。女子のスポーツ活動が活発になると、男子に回していた予算が削られてしまうからです。それでも、今では女子の予算も少しずつ増え、男子との差はせばまってきたとのことです。

日本の大学スポーツでは、女子だけの種目を除くと、ほとんどが男子の付録・というような存在ではないかと思えます。日本の大学女子チームにも、やがて自立の日が来るのでしょうか。

日本の大学スポーツでは、女子だけの種目を除くと、ほとんどが男子の付録・というような存在ではないかと思えます。日本の大学女子チームにも、やがて自立の日が来るのでしょうか。

日本の大学スポーツでは、女子だけの種目を除くと、ほとんどが男子の付録・というような存在ではないかと思えます。日本の大学女子チームにも、やがて自立の日が来るのでしょうか。

▼米国のNAGWS(全国女子スポーツ協会)が、WSFとGCA(ガールズ・クラブズ・オブ・アメリカ)と協力して、ニューアジェンダIIと銘打った会議を開催します。直前に行われるパンアメリカン大会と関連させて、1987年6月19日/21日の3日間、インディアナポリスで開かれるこの会議は、「女子とそのスポーツへの機会」を中心議題として展開されます。

ニューアジェンダとは、新しい議題、という意味で、第一回の会議が1983年に、ワシントンDCで開かれました。この時はWSFが主催し、女性スポーツのための重要なイベントとして

成功させています。またニューアジェンダIIでは、今や米国民全体の最大関心事ともいえる、フィットネスにも注目しています。有名選手や各分野での専門家が多数参加し、女子スポーツに関する最新の研究成果をもとに話し合いがされます。会議と同時に、教育展示も一般公開される予定です。

ニューアジェンダIIについての詳細は事務局まで。

▼1月10日(土)京都新聞社において、第2回女性スポーツ京都会議が開催されました。

会議は第5回全国都道府県対抗女子駅伝(18日・京都)に協賛して開かれ、女性約250人が参加。小倉英津子助教大助教授(スポーツ社会学)の基調講演、WSF Japanの三ツ谷洋子代表の海外レポート、そして「美しく生きるために」と題してのパネルディスカッションという内容でした。次号でアンケート結果など、詳細をお伝えします。

WSF Japan 協力者

▽加藤紀生子(神奈川県・川崎市)

WSF Japanとは...

新会員紹介

▽寺川千代(京都府・相楽部)

WSF Japanとは...

WSF Japan News 第11号(季刊)冬月号) 発行 昭和62年2月1日 発行人 三ツ谷洋子 編集 SPORTS 21 発行所 WSP JAPAN 〒131 東京都渋谷区西原 3-36-23 1202 ☎03(467)5211